

令和3年度事業報告について

I 事業報告について

1 調査研究事業

医療、保健衛生等の分野における各種の在宅医療・介護等について、次のとおり調査研究を行った。

(1) 在宅介護実態調査

神戸市医師会に委託して、神戸市医師会員が主治医として診察している在宅長期寝たきり者について、次のとおり実態調査を行った。

ア. 回答集計

在宅長期寝たきり者（令和3年7月1日現在、6か月以上寝たきり又はそれに準じる者）

総 数 1, 931人（男性 645人、女性1, 286人）

（平均年齢 83. 9歳 男性78. 5歳、女性86. 5歳）

イ. 医療の対象である主たる病名

① 脳梗塞及び脳出血後遺症・脳血管障害	383人（19. 8%）
② 認知症	287人（14. 9%）
③ 高血圧症・心疾患	254人（13. 2%）

ウ. 「寝たきり」の原因となった主たる病名

① 脳梗塞及び脳出血後遺症・脳血管障害	439人（22. 7%）
② 廃用性症候群	347人（18. 0%）
③ 認知症	261人（13. 5%）

エ. 在宅で行っている医療行為（複数回答可）

① リハビリなどの機能訓練	204人（10. 6%）
② 皮膚病変の処置、管理	189人（9. 8%）
③ 胃瘻（空腸瘻含む）による経管栄養	187人（9. 7%）
④ 尿道留置カテーテル、腎瘻、人工膀胱	159人（8. 2%）

オ. 医学的見地から、より充実させるべき医療行為（複数回答可）

① 訪問リハビリテーション	580人（30. 0%）
② 入院のための病診連携	443人（22. 9%）
③ 訪問看護	408人（21. 1%）
④ 緊急時往診体制	303人（15. 7%）

カ. 現状で不足していると思われるサービスの種類（複数回答可）

① なし	836人（43. 3%）
② 訪問リハビリテーション	314人（16. 3%）
③ 短期入所療養介護（ショートステイ）	310人（16. 1%）
④ 訪問看護	185人（9. 6%）
⑤ 歯科衛生士による口腔ケア	118人（6. 1%）

キ. 主として介護している人

① 子供（女）	394人（20.4%）
② 親族以外の人（女）	366人（19.0%）
③ 配偶者（女）	324人（16.8%）
④ 子供（男）	203人（10.5%）

ク. 1年間の看取り数

総数2,203人（前年度1,931人）

在宅での看取り 1,173人（53.2%）

在宅以外 1,030人（46.8%）

（特養、老健、高齢者住宅、有料老人ホーム他）

(2) 神戸リハビリテーション病院退院患者調査

病院退院先の推移

（単位：人）

年度	退院患者数	家庭	病院	老人保健施設	老人福祉施設	その他
元	827	594	101	71	36	25
2	790	555	95	67	44	29
3	830	609	91	57	25	48

神戸リハビリテーション病院から家庭復帰した退院患者のうち、居宅介護サービス等を利用する方について、担当のケアマネジャーに対し、在宅生活における状況等の調査を行った。

回答総数 165件（男性69人、女性96人）

ア. 退院前の主な疾患

①脳血管疾患	86件（52.1%）
②整形疾患	63件（38.2%）
③廃用他	16件（9.7%）

イ. 急性増悪の有無

①増悪なし	135件（81.8%）	
②増悪あり	24件（14.6%）	脳梗塞、心不全、肺炎他）
③不明	6件（3.6%）	

ウ. 機能低下の有無

①機能低下なし	132件（80.0%）	
②機能低下あり	29件（17.6%）	歩行、嚥下障害、移動動作他）
③不明	4件（2.4%）	

エ. 退院後の居場所

①自宅	142件（86.1%）
②入院中	7件（4.2%）
③サ高住・有料老人ホーム	5件（3.0%）
④その他	11件（6.7%）

(3) 神戸リハビリテーション病院入院患者の口腔調査研究

神戸市歯科医師会に委託し、歯科治療を行った入院患者について、口腔衛生に関する調査を行った。(前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、舌圧測定による調査は中止した。)

ア. 口腔内チェック記録 カルテ集計

神戸リハビリテーション病院 (令和3年1月～令和3年12月末までの歯科介入患者)

総数 685人 (男性 276人・女性 409人)

平均年齢 77.4歳 (男性75.2歳・女性 78.8歳)

イ. 主な疾患

① 整形疾患	276人	(40.29%)
② 脳血管疾患	254人	(37.08%)
③ 脊髄疾患	114人	(16.64%)
④ その他	41人	(5.98%)

ウ. 脳血管疾患 患者の食事形態 (254人)

① 胃瘻	20件	(7.87%)
② 経鼻経管	11件	(4.33%)
③ 経管栄養	3件	(1.18%)
④ 普通食	71件	(27.95%)
⑤ 米飯普通菜 米飯軟菜	13件	(5.11%)
⑥ 軟飯普通菜 軟飯軟菜	31件	(12.20%)
⑦ 軟飯刻み	2件	(0.78%)
⑧ パン軟菜	1件	(0.39%)
⑨ 全粥普通菜 全粥軟菜	41件	(16.14%)
⑩ 全粥刻み	22件	(8.66%)
⑪ 全粥ペースト全粥ミキサー	21件	(8.26%)
⑫ 全粥トロミ	5件	(1.97%)
⑬ パン軟菜	1件	(0.39%)

エ. かかりつけ歯科医について

① 有	314人	(45.84%)
② 不明	314人	(45.84%)
③ なし	57人	(8.32%)

オ. 歯の欠損部義歯補綴について

① 義歯あり	280件
② 義歯未装着、未使用	53件
③ 装着不可、紛失、拒否	3件

カ. アイヒナーの分類、残存歯の咬合状態について（図1参照）

A1～A3、左右の臼歯部と大臼歯部の4領域すべてで上下の歯が噛み合う良好な状態
A1：欠損歯なし A2：上の歯か下の歯のどちらかで欠損歯あり A3：上下とも欠損歯あり
B1～B4、上下の歯で噛み合う領域が3領域以下
C1～C3、上下の歯で噛み合う歯がない

- ① A1 157件 (22.92%)
- ② A2 64件 (9.34%)
- ③ A3 30件 (4.38%)
- ④ B1 54件 (7.88%)
- ⑤ B2 61件 (8.90%)
- ⑥ B3 49件 (7.15%)
- ⑦ B4 45件 (6.57%)
- ⑧ C1 31件 (4.53%)
- ⑨ C2 85件 (12.41%)
- ⑩ C3 91件 (13.28%)

キ. アイヒナー分類、義歯装着による咬合状態について

すれ違い咬合 B4、臼歯部欠損、上下の歯で噛み合う歯がない C1、C2、C3 時の
義歯装着による咬合状態について

- ① B4 45件中 義歯咬合良好 27件
- ② C1 31件中 義歯咬合良好 27件
- ③ C2 85件中 義歯咬合良好 60件
- ④ C3 91件中 義歯咬合良好 67件

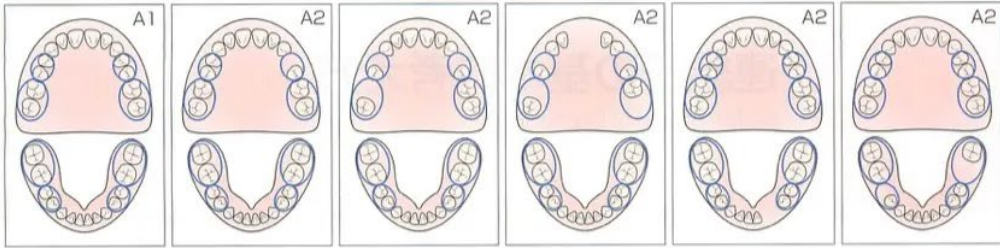
ク. 脳血管疾患 患者さんのアイヒナー分類

すれ違い咬合 B4、臼歯部欠損上下の歯で噛み合う歯がない C1、C2、C3 時の
義歯装着による咬合状態が良好な場合の食事形態普通食の件数について

- ① B4 15件中 義歯咬合良好 8件中 普通食5件
- ② C1 10件中 義歯咬合良好 3件中 普通食1件
- ③ C2 24件中 義歯咬合良好 16件中 普通食6件
- ④ C3 36件中 義歯咬合良好 19件中 普通食8件

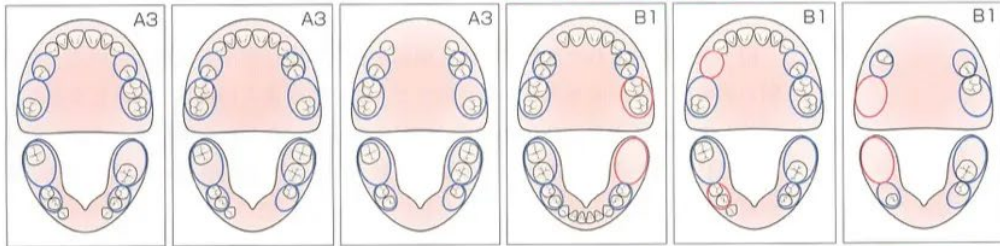
(図1)

A : 4つの咬合支持域をすべてもつもの



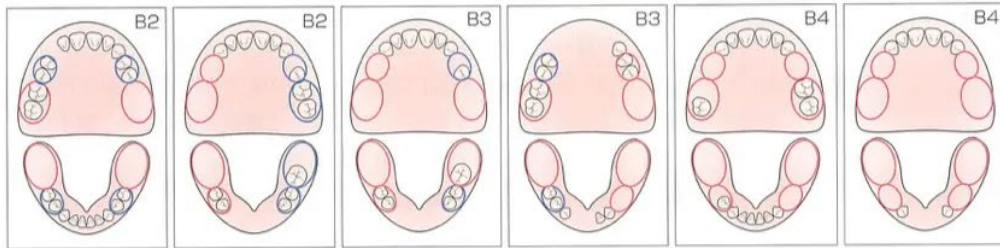
A1 : 上下顎ともに歯の欠損がない場合 (クラウンやブリッジによる支持も含む)
A2 : 上下顎のうち1顎のみに歯の欠損がある場合

B : 咬合支持域が減少したもの



A3 : 上下顎ともに歯の欠損がある場合

B1 : 3つの支持域をもつ場合 (支持域が1つ減少)

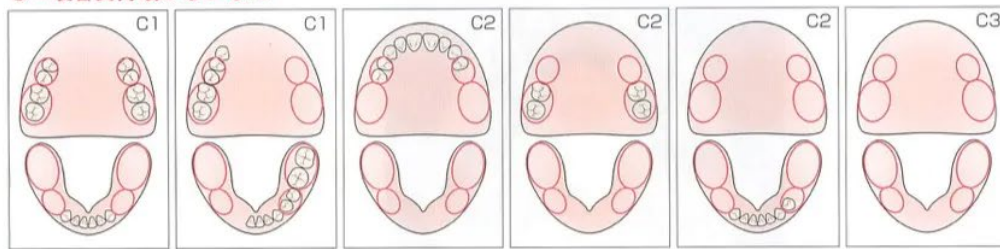


B2 : 2つの支持域をもつ場合 (支持域が2つ減少)

B3 : 1つの支持域をもつ場合 (支持域が3つ減少)

B4 : 大・小臼歯群に支持域はなく、前歯部だけに咬合接触がある場合 (支持域が4つとも存在しない)

C : 咬合支持域がないもの



C1 : 上下顎に残存歯がある場合 (すれ違い咬合)

C2 : 上下顎のうち1顎が無歯顎の場合

C3 : 上下顎とも無歯顎の場合

図10-3 Eichner の分類

○ : 残存する咬合支持域. ○ : 失われた咬合支持域.

アイヒナーの分類 (「歯学生のパーシャルデンチャー」医歯薬出版 より引用)